

# 本会議質問から

第3回定例会では、7人の議員が個人質問を行いました。質問順に主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

## 市民連合



田尻 将博 議員

**質問 1** **人口減少対策 本市の対策は**  
日本の人口は少子高齢化で急激な人口減少国となり、衣食住に影響し、早急な人口対策の政策が必要では。

**答弁** 人口減少や多様化する市民ニーズ等に対応するため、行財政改革に取り組み、将来にわたり安定したサービス提供できる市政を目指す。

**質問 2** **ごみステーションの清潔度コンテストを**  
町内のごみステーションの清潔度のコンテストを実施し、町内代表によるごみサミットを実施してほしい。

**答弁** 今後、優良なごみステーションの紹介などにより、ごみ出しルールの徹底とごみステーションの改善に向け、更なる啓発に努める。



## 公明党



園川 良二 議員

**質問 1** **いじめ防止対策推進法制定を受けて**  
国が、いじめ防止対策推進法に、いじめの定義を明確にした。本市でも、いじめ防止基本方針を策定できないか。

**答弁** 法の制定を受け、これまでの取り組みを検証しており、今後、国から示される基本方針を参酌し、できるだけ早い時期に策定したい。

**質問 2** **交通系 IC カード（※1）について**  
熊本市のみならず、県下全域にかかる問題。県にももっと主体的にかかわるよう、市との情報交換を強力に。

**答弁** 熊本都市圏全体を見据えて取り組んでいく必要があることから、県をはじめ、民間交通事業者との連携を一層強化していく。



**用語解説** ※1 交通系 IC カード 事前に利用金額を登録しておくことで、鉄道やバスなど、公共交通機関を利用する際に運賃として利用できる集積回路（IC）が組み込まれたカード

## 共産党



上野 美恵子 議員

**質問 1** **花畑広場40億円、桜町大会議場300億円中止を**  
市民の合意を得ないまま花畑ひろばに40億円、桜町再開発に300億円のムダ使いは、中止するよう求める。

**答弁** 桜町・花畑一帯を魅力的な空間とするため、MICE（※2）を含む再開発と花畑広場は必要であり、今後市民等の理解を得ながら進めたい。

**質問 2** **指定都市3番目に高い国保料引下げを**  
熊本市の国保料は、指定都市3番目に高く、重い負担です。せめて指定都市平均となるよう引下げを求める。

**答弁** 国保会計は低所得者層が多い等の構造上の課題があり、より一層厳しい財政運営が続くことが予測されるため、保険料の引下げは困難。



**用語解説** ※2 MICE 企業等が行う会議や研修旅行、国際会議や学会など、多くの集客が見込めるイベントの総称。

## 自民党



満永 寿博 議員

**質問 1** **中心市街地活性化基本計画について**  
熊本市らしい個性的で魅力ある商店街づくりを目標とした対策を講じるべき。空き店舗の活用策はどうか。

**答弁** 商店街関係者等と協議会を設立し、魅力的な利活用を先進都市の事例も含め研究し、成功事例を造ることで商店街に広げていきたい。



**質問 2** **発達障害児に対する支援について**  
専門家のスキルアップとライフステージに合わせた対応が必要。支援体制強化と関係機関の連携を図るべき。

**答弁** 初期療育から青年期以降の就労相談まで、的確な支援の拡充に努める。また関係機関の連携強化により療育体制の充実を図っていく。

## くまもと未来



田中 誠一 議員

**質問 1** **国際コンベンションシティとしての都市戦略**  
マイルス施設完成までに熊本市が「グローバル・マイルス戦略都市」に選出されるまでの意気込みはあるか。

**答弁** 将来的にはグローバル・MICE 戦略都市も視野に入れながら、MICE 開催都市として選ばれるよう、施設整備、誘致推進に全力を尽くす。



**質問 2** **新たな観光ルートの構築と企業誘致**  
北熊本スマート IC、城南スマート IC が整備された際の植木町城南町の観光、企業誘致についての取り組みは。

**答弁** 旅行エージェントへのセールスや観光プロモーションを図る。また利便性が高まる城南工業団地等への製造業の誘致に取り組む。

## 市民連合



福永 洋一 議員

**質問 1** **区役所等の予算や役割等について**  
市民の区役所等の利用状況の実態として、市民サービスの格差がある。役割や機能等の見直しの方向性は？

**答弁** 区役所の利用状況の変化への対応やまちづくり体制強化のため、区役所等のあり方及び機能再編に関する実施方針を来年度策定する。

**質問 2** **子どものいじめや不登校等の対策の充実を**  
相談件数が増加しスクールソーシャルワーカー（※3）の役割は重要。5名体制の拡充策等、改善策を早急に検討すべき。

**答弁** 役割の重要性を深く認識しており、さらなる組織的な対応のためにも、他都市の状況を参考にしながら、人的体制の充実を努めたい。



**用語解説** ※3 スクールソーシャルワーカー 児童・生徒が学校や日常生活で直面する苦しみや悩みについて、家族、学校、地域等に働きかけ、解決を支援する専門職。

## 自民党



大島 澄雄 議員

**質問 1** **城南スマート IC に関連した諸課題について**  
インター設置による周辺道路の渋滞の軽減策と使い勝手が悪くなった農地の対応策と農振除外（※4）の可能性について。

**答弁** 交通量の増加や通学路の確保等の諸課題は、工事設計の際に検討し、農振除外は、具体的な計画の提案を受け、総合的に判断したい。



**質問 2** **団地内等の私道の補修・整備について**  
私道整備補助金の申請は、地権者全員の承諾が必要とあるが、内容によっては、規則の見直しが必要ではないか。

**答弁** 土地所有者間での問題が発生しないと明確に判断される場合については、今後規則の見直しを含め、その対応を検討してまいりたい。

**用語解説** ※4 農振除外 転用したい農地が農業振興地域の農用地区域に該当していた場合、農地法による転用許可を受ける前に農用地区域から除外すること。